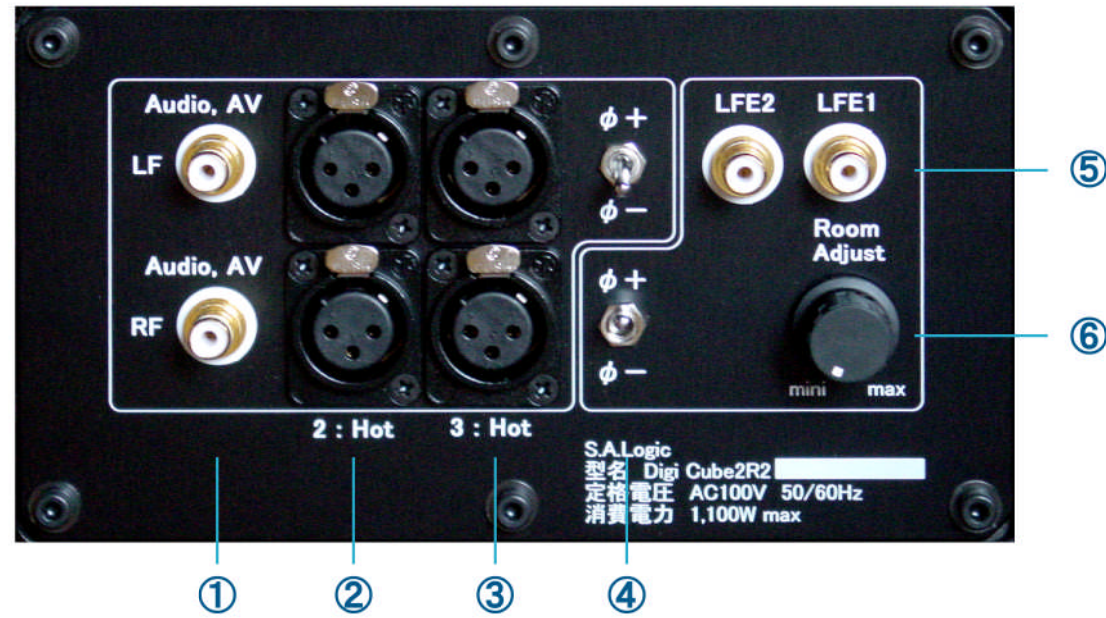


## 入力パネルの構成と接続方法



### ①②③ Audio & Theat Front Input / アンバランスLR、バランスLR、

XLRへの入力、メインのシステムが2番Hotのとき②、3番Hotのとき③に接続して下さい。シアター専用で使う場合は、Theat L,R にシアターのフロントL,Rを入力して下さい。  
(注:AVプロセッサのFL,FR出力に予備出力端子がない場合、別途パラケーブルが必要です)、フロントスピーカーのレンジを15Hzまで拡大すると同時に、LFE入力によりサブウーファとしての動作もします。

### ④ 位相反転スイッチ

正常に接続された場合 "φ-" で使う可能性はありません。確認のためのスイッチです。開梱や設置の際に "φ-" に倒れてしまうことがあります、**使用前に "φ+" であることを確認**してください。

### ⑤ LFE・アンバランス入力

### ⑥ LFE・Room Adjust

AVプロセッサのLFE出力から送り出されるLFE信号は、30Hz程度までしかレスポンスが無いことが多い一般のサブウーファを想定して独自の補正がかかっている可能性が高いようです。

Room Tuningアジャスターにより、ご使用環境に合わせて最適なLFE特性を設定することができます。Maxのとき低音域のブースト量最大です。

## オーディオ入力①②③に接続するには

・オーディオ・システムのプリアンプ予備出力(予備出力がない場合はパラケーブルが必要)を①②③のオーディオ入力に接続してください。プリアンプ出力がアンバランスのとき、DCubeはアンバラ&バランスどちらでも受けることができますが、アンバランス出力をバランス受けするとゲインが-6dBになります。なるべくRCA→RCAまたはXLR→XLRケーブルをご利用下さい。

・AVプロセッサのフロントL,R出力をD.Cube2のTheat FL,FR に入力する使い方もできます。フロントスピーカーの周波数レンジが15Hzまで拡張されるため、オーディオ兼用のAVシステムに最適な方法です。別項の「5.1chシステムだけで、ピュアオーディオ・クオリティのホームシアターを組む方法」をご参照下さい。

## LFE入力に接続するには

・AVプロセッサのLFE出力をD.Cube2のLFE入力⑤に接続します。Room Tuningアジャスター⑥により超低音のレベルの増減ができます。LFEの周波数特性をご使用環境に合わせてください。

5.1 ch システムだけで (ピュアオーディオ兼用システムに最適な)  
ピュアオーディオクオリティのホームシアターを組む方法。

\* フロントにサブ出力がないときはパラコードが必要。

